

カテゴリ	サブカテゴリ	コード(要約)
医療側の制度・対応の問題	【受診時間が平日昼間に限定される】	土曜日の診察がないので、有給がかなり減ってしまう。 土日祝日の診療を希望。 理解ある職場で気兼ねなく休みがとれるが、仕事をスムーズに進めるために土日祝日の診療を希望。
	【遠距離通院の弊害】	早期や夕方にも通えるようになるとうい。 週1の抗がん剤治療を近所の病院でできれば半日で終わり、仕事もしやすい。 遠距離通院のため大変。
	【副作用の説明が不十分】	副作用の細かい説明が不十分
	【治療予定が分からず、スケジュール調整に苦労する★】	早朝や夕方にも通えるようになるとうい。 急に入院が入るため、仕事の予定がたたない。 治療のスケジュールが分からないので、仕事の予定がたてられない。 通院日の日程調整に苦労する。 手術日程が決まらず、仕事の調整が難しい。 手術など今後の予定が分からず不安なので、ある程度説明してほしい。 治療のスケジュールが分からないので、仕事の予定がたてられない。
	【受診にかかる時間が長い/予測できないので予定がたてられない★】	待ち時間が長く、終日休む必要がある。せめて半日なら良いが。 予想外に時間がかかることがあるので治療日に仕事が入れられない。 待ち時間が日によって違うため、一日休みが必要。 術後の検査で数日つぶれるのは、フルタイムで働いている人や遠方の人にとっては負担ではないか。 一日で終わるようにしてほしい。
	【通院頻度が多い★】	検査と結果を聞く診察で数日つぶれる。一日で終わるようにしてほしい。
	【来院しないと相談できない★】	来院しないと相談できない(電話相談できるとよい)。
	【高額医療費の説明を希望★】	高額医療費について、病院内できちんと聞けるシステムがほしい。
	【包括的な支援メニューを希望★】	特に女性は仕事と生活は分ちがたいので、包括的な支援メニューの提供が必要。患者の側にも意識改革が必要。

がん患者の仕事と治療の両立に関する調査研究

研究分担者	国立がん研究センター東病院	病院長	西田 俊朗
	国立がん研究センター東病院	がん相談統括専門職	坂本はと恵
	国立がん研究センター東病院	呼吸器外科長	坪井 正博
	横浜市立大学大学院	教授	山中 竹春
	東海大学医学部	教授	立道 昌幸
	国立がん研究センター中央病院	呼吸器内科	堀之内秀仁

研究要旨

がん患者の職業生活と治療の両立のための支援体制は、現在政策的に進められつつあるが、それは、解雇や再就職が困難等、問題が顕在化した事柄への対応策として社会保険労務士やハローワーク・産業医との連携体制を強化するといった人的整備が中心であり、離職防止の観点からの仕組みづくりやアウトカム評価は行われていない。

本研究では今年度、①がん患者の診断初期の離職率の把握、②離職背景と復職の阻害要因の解析、③就労継続・復職にあたり、医療者が果たすべき役割の明確化を目的とし、多施設における患者対象実態調査を開始した。

その結果、がん専門病院初診までに、約 6%の患者が離職していること、また離職していない患者のうち約 20%は、がんと診断或いは疑いを持った早期の段階で離職を検討していることが明らかとなった。

診断初期のがん患者の支援ニーズには、がん患者が本来受けられる支援の情報、治療に要する時間等の具体的がん治療の標準的な情報、そして同病者の実施した具体的な工夫を知る場を求めていることが明らかとなった。またがん患者の多くは小規模事業所の従業員であり、そちらへの支援も重要であることが示唆された。

A. 研究目的

本研究の目的は、がん患者を対象に実態調査を行い、以下の3つの点を明らかにすることである。それは、①がん患者の診断初期の離職率の把握、②離職背景と復職の阻害要因の解析、③就労継続・復職にあたり、医療者が果たすべき役割の明確化、である。

特に、本研究は後ろ向きの先行研究からすでに明らかとされているがん患者の離職リスク要因に加えて、新たにがんの部位・治療内容との相関を分析するとともに、治療の時間軸に沿って、いつ、どのようなタイミングで医療者が介入することが有用であるかを見極めることを目指している。

B. 研究方法

1) 研究デザイン

前向き観察研究

2) 症例の選択基準

[適格条件]

- (1) IRB による研究計画承認後、早い時期の約 1 か月間に、研究参加施設に初診した初回治療前の患者
- (2) 年齢：20 歳～65 歳
- (3) 対象部位：がんの疑いもしくは臨床的・組織学的、病理学的に診断されている者で、国立がん研究センター東病院および神奈川

県立がんセンターにおいて治療を開始する
予定の患者

(4) 調査に関する合意が得られること

〔除外条件〕

以下のいずれかを満たす患者は登録の対象としない。

- (1) 初診後、再診予定のない患者
- (2) 患者に明らかな意識障害がある場合
- (3) 患者に重篤な身体症状があり、研究への協力が困難な場合
- (4) 患者に重篤な精神症状（重度の認知機能障害、重度の抑うつ状態）があり、研究への協力が困難な場合
- (5) 患者が日本語の理解が困難な場合
- (6) その他、担当医が調査への参加が不適格と判断した患者

3) 調査実施期間

- (1) 第1回：研究許可日～約4ヶ月間
- (2) 第2回：第1回調査実施から約6ヶ月後の約4ヶ月間
- (3) 第3回：第2回調査実施から約2年後の約4ヶ月間

4) 調査項目

4-1. 職業生活とがん治療の両立に関して重要と考えられる、以下の3つの要素

- (1) 就労の阻害要因および促進要因
- (2) 離職や復職にあたっての相談状況
- (3) 医療者に対して望む支援、その他受けたいと考える支援

4-2. がんの疑いもしくはがん診断直後から調査回答時までの退職の検討（あるいは退職）した場合の経緯

- (1) 退職の経緯

(2) 退職した時期

(3) 退職した理由

4-3. 職業生活とがん治療の両立を左右する要素の調整変数としての質問項目

(1) 仕事の生産性及び活動障害に関する質問票(WPAI)

(2) がん患者用のQOL尺度

EORTCQLQ-C30 (version 3)

4-4. 患者の背景情報としての基本属性

- (1) 年齢
- (2) 性別
- (3) 婚姻状況
- (4) 世帯状況（同居者の内容と数）
- (5) 発病前の就業状況
- (6) がんの診断状況
- (7) がんの部位
- (8) 初回治療前の検査状況
- (9) PS

5) 評価項目と分析

5-1. 評価項目

- (1) 主要評価項目：離職率
- (2) 副次評価項目：復職率・治療中断患者数
離職決断時期
- (3) 基本属性の違いによる就労状況の回答分布
- (4) 心身の状況、がん治療（検査を含む）が仕事の生産性に与えた影響等と就労状況の回答分布
- (5) 施設特性の違いによる就労状況の回答分布

5-2. 疫学調査の解析

項目ごとに単純記述統計を行う。また就労状況の回答分布と回答者の属性等との関連を検討する。

あわせて、①治療開始前、②初期治療終了直後（初診から6か月後）、③がん診断から約2年後といった治療の時間軸に沿い、就労状況お

よび仕事と治療の両立を困難とするリスク因子の抽出を行う。

6) 調査見込み症例数

400 例

7) 算出根拠

研究参加施設における初診患者の受診者数を加味し、実施可能症例数として設定した。

<倫理面への配慮>

厚生労働省が定める臨床研究に関する倫理指針および疫学研究に関する倫理指針に従い、必要に応じて、調査実施前に関係機関の倫理審査委員会の承認を得る予定である。また、研究の趣旨および研究方法の説明、研究性成果により予測されるメリット・デメリット、結果公表に際しての匿名性の保持、同意撤回の権利等を趣旨説明書に明記した。

C. 結果

国立がん研究センター東病院における第1回実態調査（中間報告）

平成27年8月17日～平成27年12月28日の期間に、実態調査協力に同意を得た333名に調査票を配布し、303名より回答を得た。

(回収率91.0%)

1) 平均年齢

53.0 歳

2) 性別

男性169名(55.8%)、女性133名(43.9%)、不明1名(0.3%)

3) 勤務形態・業種・従業員数

常時雇用従業員が65.4%を占めていた。業種としては、販売的職業・事務的職業・専門的職業がそれぞれ12～17%を占め、従業員数では、50人以下の小事業所が主であった

表1 就労状況(N=303)

雇用体制	NA=no answer	
	件数	%
常時雇用されている従業員	140	65.4%
臨時雇用・パート・アルバイト	76	25.1%
自営業主	35	11.6%
常時雇用されている公務員	17	5.6%
家族従業者	10	3.3%
自営業以外の経営者・役員	8	2.6%
単独事業者	4	1.3%
内職	0	0.0%
その他	9	3.0%
NA	4	1.3%
業種		
事務的職業	54	17.8%
販売的職業	51	16.8%
専門的職業	38	12.5%
生産工程作業従事者	25	8.3%
管理的職業	24	7.9%
サービス事業者	21	6.9%
運輸・通信・保安職	20	6.6%
農林漁業	3	1.0%
その他	61	20.1%
NA	6	2.0%
従業員数		
1～50人	132	43.6%
500人以上	82	27.1%
50～100人	34	11.2%
101～300人	23	7.6%
301～500人	15	5.0%
その他	9	3.0%
NA	8	2.6%

(43.6%) (表1)。

4) 診断状況

がんの疑いと説明を受けてから、実態調査回答までの期間の中央値は、1.5ヶ月であった。尚、がんの確定診断がついている患者は117名(38.6%)、確定していない患者は178名(58.7%)、回答なしが8名(2.6%)であった。

5) 離職状況

調査回答時までに離職した患者は、19名(6.1%)であった。

6) 退職検討の有無

調査回答時までに、離職していない患者283名のうち、これまでに、退職を検討したことがある、と回答した患者は、64名(21.8%)を占

めた。

尚、退職の検討時期は、①がんの疑いがあると説明を受けたとき (45.8%)、②がんの診断が確定したとき (26.4%)、③治療の内容について説明を受けたとき (12.5%)、④治療を開始した後 (4.2%)、⑤その他 (11.1%) であった。

7) がん診断初期の段階で希望する支援

職業生活とがん治療の両立に際し、患者が希望する支援は、①休職中に利用可能な公的制度を知りたい (45.9%)、②職業生活と治療をどのように両立するのか、具体的方法について知りたい (38.3%)、③経済的問題について相談したい (32.0%)、④他の患者さんがどのようにしているのか知りたい (31.0%)、⑤会社による休職期間の支援制度を知りたい (27.1%)、⑥会社とのコミュニケーション方法について知りたい (12.2%)、⑦会社とのコミュニケーションに苦慮しており、医療者等に仲介に入ってもらいたい (1.3%)、となり、身分保障や所得保障に関する項目が上位を占める結果となった。

8) 医療者に対して望む支援

患者が医療者に対して望む支援に関する上位4項目は、①治療のスケジュールや起こりうる副作用について、早めに教えてほしい (57.8%)、②休職中に受けられる支援制度について知りたい (30.7%)、③他の患者さんがどのようにしているのか知る場を提供してほしい (29.4%)、④受診日や治療方針の決定に仕事の都合を考慮してほしい (28.4%) であった。尚、会社との交渉支援や、ハローワーク等の労働専門職を加えた支援ニーズは、それぞれ8%以下に留まる結果となった。

D. 考察

今回の中間報告では、離職予防の観点から支援体制のあり方を、1) 診断初期段階で患者が就労継続するために支援体制に求めるものと、2) いつ、どこで、誰が、どのような支援をすることが望ましいのか、という2つの視点から考察する。これにより支援プログラムを実施する場所が、がん診療連携拠点病院か掛かりつけ医か、といった問題に関しても示唆が得られる。

1) 診断初期のがん患者の離職実態と離職予防の働きかけを実施すべき機関

現時点で得られている実態調査結果から、がんの疑いの説明を受けてから、初期治療を開始直後までの期間(中央値 1.5ヶ月)に離職した患者は6.1%で、離職していない患者283名のうち、退職を検討したことがある患者は、64名(21.8%)を占めていた。がんの疑いの説明を受けた段階から、一定数のがん患者が離職あるいは離職を検討することから、離職予防を目的とした患者介入は、がん専門病院に留まらず、がん検診等を実施する地域の医療機関も視野に入れる必要性が示唆された。

2) がん患者の診断初期の支援ニーズと医療者に期待されている役割

現時点で得られている実態調査の結果から、診断初期のがん患者の支援ニーズが3つ見えてきた。1つは、診断初期の患者は、がんの罹患時に本来受けられる支援の情報を持っておらず、その情報を求めていることである。2点目は、治療に要する時間等のがん治療の標準的な情報である。3点目は、制度や情報で補えない、他の患者の実施した具体的な工夫を知る場を求めている。

E. 結論

今回、国立がん研究センター東病院における実態調査の実施と分析を行った。2016年3月より第2回実態調査を行い、1) がんの部位・治療内容との相関を分析するとともに、治療の時間軸に沿って患者の支援ニーズの変化、2) 支援ニーズだけでなく、就労を困難にしている要因について、患者の主観的視点に加え、QOL尺度等を用いて定量的に解明し、がん患者の離職予防プログラムへの反映を目指す予定である。

また、神奈川県立がんセンターにおいて、2016年2月から3月の期間に、第1回実態調査を開始する予定である。その結果を踏まえて、2016年4月以降の早い段階で、2医療機関で実施した第1回実態調査結果の詳細な分析を行う予定である。

F. 研究発表

1. 学会発表

- 1) 坂本はと恵：がん領域における就学・就労支援. 第69回国立病院総合医学会, 2015年10月, 札幌
- 2) 坂本はと恵, 西田俊朗：がん患者の就労支援に際して事業所が医療機関に望むこと—千葉県「がん患者の就労支援に関する事業所実態調査」から—。第63回日本職業・災害医学会学術大会, 2015年11月, 横浜

2. その他

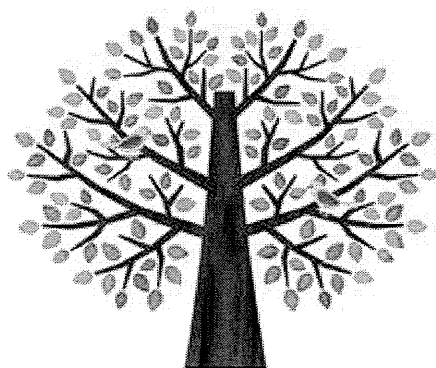
- 1) 坂本はと恵：がん患者の就労支援—医療機関で実践できること—。第15回城南消化器がんチーム医療フォーラム, 2015年7月, 東京
- 2) 坂本はと恵：がん患者の就労支援—がん診療連携拠点病院の実践から—。藤田保健衛生大学腫瘍学基盤先端セミナー, 2015年11月, 愛知
- 3) 坂本はと恵：がん患者への就労支援. 小澤桂子, 菅野かおり, 足利幸乃 (監修)：理解が実践につながるステップアップがん化学療法看護<第2版>. 株式会社学研メディカル季潤社. 東京; 84-87: 2016

G. 知的財産権の出願・登録状況

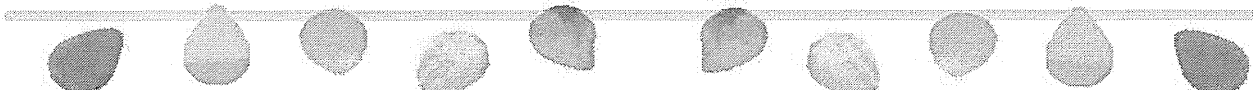
なし

第1回

働きながら治療を受けられる 患者さんへのアンケート



国立研究開発法人国立がん研究センター東病院



仕事とがん治療の両立に関するアンケートについて

《ご記入にあたってのお願い》

- ◇ この調査は、国立がん研究センターを受診されている、20歳以上65歳未満の方に回答をお願いしています。
- ◇ ご回答は、あてはまる項目に○印をつけていただくか、チェックボックスにチェックをお願いいたします。
- ◇ ご回答に迷う場合は、できるだけ近いものにチェックをお願いいたします。
- ◇ 「その他」をお選びになった場合は、()内に具体的な内容をご記入下さい。

《アンケートの提出方法》

- ◇ 本日中にご記入いただいた場合は、各外来窓口もしくは会計窓口に設置した回収箱に投函して下さい。
- ◇ 本日中のご記入が難しい場合は、ご自宅でご記入の上、平成 年 月 日()までの再診外来受診時に回収箱へ投函をお願いいたします。
- ◇ 今回の調査後、約6ヵ月後と約2年後の状況についてお伺いするアンケート調査を行う予定です。あわせてご協力の程、よろしくお願いいたします。

平成27年 月

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 病院長
サポーターケアセンター／がん相談支援センター

4. 就労状況について教えてください。

4-1) あなたはがんの疑いが生じたときに、報酬を伴うお仕事に従事していましたか。

- ₁ はい
₂ いいえ

4-2) あなたは現在仕事を続けていますか。

- ₁ 続けている
₂ 続けない (「続けない」の場合は、6ページにお進みください) →

4-3) 現在もお勤めを継続されている方にお聞きします。就労状況について、当てはまる項目をひとつ選択してください。

- ₁ 現在も出勤している
₂ 休職中である

4-4) 現在も仕事を続けている方にお聞きします。今回病気と言われてからこれまでに退職を検討したことはありますか？

- ₁ ある
₂ ない (「ない」の場合は、7ページにお進みください) →

4-5) 4-4で「ある」と回答された方にお聞きします。それはいつですか。ひとつ選んでください。

- ₁ がんの疑いがあると説明を受けたとき
₂ がんの診断が確定したとき
₃ 治療の内容について説明を受けた後
₄ その他 (具体的に: _____)

4-6) 4-4で「ある」と回答された方にお聞きします。退職を考えた理由について、当てはまるものをすべて選んでください。

- ₁ がんのことを知られなくなかったから
₂ 周囲に迷惑をかけたくなかったから
₃ 体力的に続ける自信がなくなったから
₄ 働くことへの意欲がなくなったから
₅ 経済的な理由
₆ 職場の配慮が得られなかったから
₇ 続けられるような支援制度がなかったから
₈ 他のスタッフを雇用しなければ業務自体が立ち行かなくなるため
₉ 自分自身の生活の優先順位が変わったから
₁₀ その他 (具体的に: _____)

5. 5ページの4-2)で「続けていない」と回答された方にお聞きします。
(「続けている」と回答された方は、このまま7ページにお進みください。)

5-1) 退職をしたのは、がんがきっかけですか。

₁ はい

₂ いいえ (「いいえ」の場合は、7ページにお進みください)

5-2) 退職した経緯について、当てはまるものを一つ選んでください。

₁ 依頼退職した/従事していない

₂ 解雇された/廃業した

₃ その他 (具体的に：

)

5-3) 退職をした時期を教えてください。

₁ がんの疑いがあると説明を受けたとき

₂ がんの診断が確定したとき

₃ 治療の内容について説明を受けた後

₄ 治療を開始した後

₅ その他 (具体的に：

)

5-4) 退職をした理由は何ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

₁ がんのことを知られなくなかったから

₂ 周囲に迷惑をかけたくなかったから

₃ 体力的に続ける自信がなくなったから

₄ 働くことへの意欲がなくなったから

₅ 経済的な理由

₆ 職場の配慮が得られなかったから

₇ 続けられるような支援制度がなかったから

₈ 他のスタッフを雇用しなければ業務自体が立ち行かなくなるため

₉ 自分自身の生活の優先順位が変わったから

₁₀ その他 (具体的に：

)

Ⅲ. 仕事と検査や治療の両立についてお尋ねします

5 ページの 4-2) で「続けていない」と回答された方も、退職を検討した際の相談状況等をお選びください。

1. 現在、何か仕事上の不安・心配はお持ちですか。当てはまる項目をいくつでも選んで下さい。

- ₁ 体調不良や治療（検査）の都合で欠勤が多い
- ₂ がんの症状により行動制約がある
- ₃ その他体調管理について
- ₄ 職場に病気を伝えるべきか悩む
- ₅ 職場に病気を知られないようにするために苦勞している
- ₆ 職場の理解が得られない
- ₇ 会社や同僚から十分な助けが得られない
- ₈ 会社や同僚から差別的対応を受ける
- ₉ もともと職場の人間関係に恵まれておらず、今後の対応に苦慮している
- ₁₀ 希望する仕事を継続できそうにない
- ₁₁ 通勤時間等、職場との調整をどのようにしたらよいかわからない
- ₁₂ 職場の支援体制を知らない
- ₁₃ 職場外の機関から受けられる公的支援の情報不足
- ₁₄ その他（具体的に： _____)

2. 1. で回答された内容について、誰かに相談していますか。

- ₁ している
- ₂ していない
- ₃ していたが、今はしていない

3. 2で相談していることがある場合、誰に相談しましたか。相談している場合、あてはまる相談相手をすべて選択してください。

- ₁ 上司
- ₂ 人事労務担当者
- ₃ 同僚
- ₄ 産業医・産業看護師
- ₅ 主治医
- ₆ 看護師
- ₇ 医療機関の相談部門
- ₈ 患者会
- ₉ 友人
- ₁₀ 家族・親戚

4. 2で相談していると回答した場合、相談した時期、その理由について教えてください（当てはまる項目全てにチェックください）。

- ₁ がんの疑いがあると説明を受けたとき
- ₂ がんの診断が確定したとき
- ₃ 治療の内容について説明を受けた後
- ₄ その他（具体的に： _____)

5. 2で相談していることがある場合、相談して役に立ちましたか。

- ₁ とても役立った
- ₂ 役立った
- ₃ あまり役立たなかった
- ₄ 全然役立たなかった

IV. 仕事とがん治療の両立について、受けたいと考える支援についてお答えください。

1. 何かしらの支援を受けられるとしたら、どのような支援を受けたいですか？あてはまる項目すべてを選択してください。

- ₁ 他の患者さんがどのようにしているのか知りたい
- ₂ 休職中に利用できる公的制度（傷病手当金など）等の、仕組みについて知りたい
- ₃ 経済的問題について相談したい
- ₄ 会社による休職期間の支援制度（病気休暇の期間や給与保障について）について知りたい
- ₅ 会社とのコミュニケーションをどのようにしたら良いのか知りたい
(誰に、どの程度、がんのことを伝えるかなど)
- ₆ 職業生活と治療をどのように両立するのか、具体的方法について知りたい
- ₇ 会社とのコミュニケーションに苦慮しており、医療者等に仲介に入ってほしい
- ₈ その他（具体的に： _____)

2. 職場に対して望む支援について、当てはまる項目をすべて選択して下さい。

- ₁ 他の従業員（がん治療歴のある）にどのように対応したのか教えてほしい
- ₂ 一般的な休職に関する会社の仕組みを知らせてほしい
- ₃ がん治療中に受けられる支援制度について知りたい
- ₄ 受診日や治療方針の決定に仕事の都合を考慮してほしい
- ₅ 病気の理解
- ₆ 病気への差別解消
- ₇ その他（具体的に： _____)

3. 医療者に対して望む支援について、当てはまる項目をすべて選択してください。

- ₁ ほかの患者さんがどのようにしているのか知る場を提供してほしい
- ₂ 一般的な休職に関する会社の仕組みについて知りたい
- ₃ 休職中に受けられる支援制度について知りたい
- ₄ 治療のスケジュールや起こりうる副作用について、早めに教えてほしい
- ₅ 受診日や治療方針の決定に仕事の都合を考慮してほしい
- ₆ 会社との交渉支援
- ₇ ハローワークとの連携等、再就職の支援
- ₈ 仕事は継続できるが、家事や育児などに関する負担の軽減策を相談したい
- ₉ 病名を職場に伝えたことにより不当な扱いを受けており、法的支援について相談したい
- ₁₀ その他（具体的に： _____)

4. 保険制度に関して望むことを教えてください。当てはまる項目をすべて選択してください。

- ₁ 医療費の自己負担額の軽減
- ₂ 休職中の公的所得補償の拡充
- ₃ 障害年金の申請のしやすさ
- ₄ 健康保険制度におけるプライバシーの確保
- ₅ その他（具体的に： _____)

V. 病気についてお伺いします。

1. 現在の診断の状況についてお聞きします。

- ₁ 現在、精密検査中であり、診断が確定していない。
→ 今回の病気のことですいつから医療機関に受診していますか。
平成 年 月ごろから
- ₂ 診断が確定している。平成 年 月ごろ

2. がんの診断であてはまるものを1つ選択してください。

確定診断がついていない場合は、もっとも疑いが強い部位に○を付けてください。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> ₁ 頭頸部（舌・咽頭・喉頭等） | <input type="checkbox"/> ₆ 胃 | <input type="checkbox"/> ₁₀ 腎 | <input type="checkbox"/> ₁₄ 膀胱 | <input type="checkbox"/> ₁₉ 皮膚 |
| <input type="checkbox"/> ₂ 甲状腺 | <input type="checkbox"/> ₇ 肝臓 | <input type="checkbox"/> ₁₁ 子宮 | <input type="checkbox"/> ₁₅ 前立腺 | <input type="checkbox"/> ₂₀ 骨 |
| <input type="checkbox"/> ₃ 食道 | <input type="checkbox"/> ₈ 膵臓 | <input type="checkbox"/> ₁₂ 卵巣 | <input type="checkbox"/> ₁₆ 精巣 | |
| <input type="checkbox"/> ₄ 肺 | <input type="checkbox"/> ₉ 胆のう | <input type="checkbox"/> ₁₃ 大腸 | <input type="checkbox"/> ₁₇ 血液（リンパ腫・白血病） | |
| <input type="checkbox"/> ₅ 乳腺 | | | <input type="checkbox"/> ₁₈ 原発不明 | |
| <input type="checkbox"/> ₂₁ その他（具体的に： | | | | ） |

3. 現在の治療状況について、最も近い項目を一つ選択してください。

- ₁ がん診断のための検査を継続中
- ₂ 検査が終了し、今後の治療方針の説明を待っているところ
- ₃ 今後の治療方針が決定し、初回の治療を開始するところ
- ₄ 前医ですでに治療（手術・放射線治療・抗がん剤治療）を受けていたが、
転院をしてきたところ
- ₅ その他（

4. 現在のあなたの日常生活にもっとも近いものを選んでください。

- ₀ 特に症状はなく社会活動ができ、がんにかかる前と同じように行動できる。
- ₁ 軽い症状があり、身体を使う仕事（肉体労働）は制限されるが、歩くことや軽作業・坐業（家事・事務など）は行える。
- ₂ 歩くことや身の回りのことはできるが、時々少し人の助けがいることもある。軽作業はできないが、日中の半分以上は起きている。
- ₃ 身の回りのある程度のことはできるが、しばしば人の助けが必要で、日中の半分以上は横になっている。
- ₄ 身の回りのこともできず、常に人の助けが必要で、一日中横になっている。

VI. 仕事の生産性及び活動障害に関する質問票 (WPAI)

以下の質問は、がん治療（検査や副作用を含む）があなたの仕事や日常の諸活動に及ぼす影響について伺うものです。

空欄をうめるか、数字に○を付けてください。

1. 現在、お勤めしていますか？（報酬を伴う仕事をしている）

₁ はい ₂ いいえ

（「いいえ」の場合は、「いいえ」に✓をつけ、質問6にお進みください。）

以下の質問は過去7日間について問う質問です。今日を含めずにお考えください。

2. 過去7日間、検査や治療を受ける病気により、何時間ぐらい仕事を休みましたか？

がん治療（検査および副作用を含む）が原因で体調が悪くて休んだ時間、遅刻・早退をした時間などは全て含めてください。この調査に参加するために休んだ時間は含めません。

_____時間

3. 過去7日間、休日や祝日、またこの調査に参加するために休んだ時間など、がん治療（検査や副作用を含む）以外の理由で何時間ぐらい仕事を休みましたか？

_____時間

4. 過去7日間、実際に働いたのは何時間ですか？

_____時間（「0時間」の場合は、質問6にお進みください。）

5. 過去7日間、仕事をしている間、がん治療（検査や副作用を含む）がどれくらい生産性に影響を及ぼしましたか？

仕事の量や種類が制限されたり、したいと思っていた仕事が達成できなかったり、普段通り注意深く仕事ができなかったりした日の事などを思い出してください。もし、仕事に対するがん治療の影響が少ししかなかった場合は、小さい数字をお選びください。影響がひどかった場合は、大きい数字をお選びください。

仕事をしている間、がん治療がどれくらい生産性に影響を及ぼしたかのみお答えください。

がん治療(副作用)は仕事に影響を及ぼさなかった	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	がん治療(副作用など)は完全に仕事の妨げになった
数字を○で囲む		

6. 過去7日間、がん治療（検査や副作用を含む）がどれくらい、仕事以外の日常の諸活動に影響を及ぼしましたか？

日常の諸活動とはあなたが普段行っている家事、買い物、育児、運動、勉強などの活動を指します。活動の量や種類が制限されたり、したいと思ったほど活動ができなかったりした日の事などを思い出してください。もし、日常の諸活動に対するがん治療(検査や副作用を含む)の影響が少ししかなかった場合は、小さい数字をお選びください。影響がひどかった場合は、大きい数字をお選びください。

がん治療（検査や副作用を含む）がどれくらい、仕事以外の日常の色々な活動に影響を及ぼしたかのみお答えください。

がん治療(副作用)は日常の諸活動に影響を及ぼさなかった	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	がん治療(副作用)は完全に日常の諸活動の妨げになった
数字を○で囲む		

VII. お身体の状況について教えてください。

あなたの状態に、もっともよく当てはまるもの1つに○をつけてください。

「正しい」答えや「誤った」答え、といったものではありません。

	まったくない	少しある	多い	とても多い
1. 重い買い物やスーツケースを運ぶなどの力仕事に支障がありますか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
2. 長い距離を歩くことに支障がありますか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
3. 屋外の短い距離を歩くことに支障がありますか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
4. 一日中ベッドやイスで過ごさなければなりませんか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
5. 食べること、衣類を着ること、顔や体を洗うこと、 便所に行くことに人の手を借りる必要がありますか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄

この一週間について

	まったくない	少しある	多い	とても多い
6. 仕事をすることや日常生活活動に支障がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
7. 趣味やレジャーをするのに支障がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
8. 息切れがありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
9. 痛みがありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
10. 休息をとる必要がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
11. 睡眠に支障がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
12. 体力が弱くなったと感じましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
13. 食欲がないと感じましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
14. 吐き気がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
15. 吐きましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
16. 便秘がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
17. 下痢がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
18. 疲れていましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
19. 痛みがあなたの日々の活動のさまたげになりましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
20. ものごとに集中しにくいことがありましたか。たとえば 新聞を読むときや、テレビをみるようなときなど。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
21. 緊張した気分でしたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
22. 心配がありましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
23. 怒りっぽい気分でしたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
24. 落ち込んだ気分でしたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
25. もの覚えが悪くなったと思いましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
26. 身体の調子や治療の実施が、家族の一員としてのあなたの 生活のさまたげになりましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
27. 身体の調子や治療の実施が、あなたの社会的な活動の さまたげになりましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄
28. 身体の調子や治療の実施が、あなたの経済上の問題に なりましたか。	<input type="checkbox"/> ₁	<input type="checkbox"/> ₂	<input type="checkbox"/> ₃	<input type="checkbox"/> ₄

次の二つの質問では、1から7の数字のうち、あなたにもっともよく当てはまる数字を○で囲んで教えてください。

29. この一週間のあなたの健康状態は全体としてどの程度だったでしょうか。

とても悪い — 1 2 3 4 5 6 7 — とてもよい

数字を○で囲む

30. この一週間のあなたの全体的な生活内容は質的にどの程度だったでしょうか。

とても悪い — 1 2 3 4 5 6 7 — とてもよい

数字を○で囲む

- ◇ 差し支えなければ、下記に診察券番号の記入をお願いいたします。
この診察券の番号は、約6か月後の状況についてお伺いするアンケート調査を行う際に、
今回の回答との照合をさせていただくためにお伺いするものです。
診察券の番号を記載していただいたことにより、調査内容が、担当医をはじめとする病院
関係者に伝えられることはありません。

診察券番号：

- ◇ 最後までご協力いただきありがとうございました。今回のアンケートはこれで終了です。

